



2025-26 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1650 回 (34)

会 長 河 村 直 孝 幹 事 小 林 崇

クラブ会長テーマ



「 明るく楽しくみんなで奉仕 」

日 時	2026 年 5 月 12 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 君が代 ・ 奉仕の理想 」 ゲスト ・ ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告

その他情報

メークアップ情報 (来週分)
メークアップ情報 (再来週分)
今後の行事予定
クラブ活動報告



**UNITE
FOR
GOOD**

【 会 長 報 告 】



皆様、こんにちは。本日も福山西ロータリークラブの例会に、ご出席いただき誠にありがとうございます。4月の17日の5クラブ合同懇親例会以来ですので、3週間ぶりの例会となりますが皆さんGWなど家族で親睦を深められたことと思います。

私は、渋滞や列に並ぶのが苦手なので、普段できない家の掃除やメンテナンスであつという間に休日が終わりました。

5月に入り、鮮やかな新緑に包まれ、日中は、真夏のような日差しが照り付ける季節となりました。福山では、今週末には、バラ祭りが開催予定で、地域が活気に満ちあふれ、バラ公園や緑町公園、駅周辺も祭りの準備でとてもあわただしい雰囲気になります。バラ祭りも今回で59回目ということですが、以前は、懐かしい歌手の本番前のリハーサルを前日の夕方聞きに行ったりしていましたが最近のタレントは誰だかさっぱりわかりません。また、パレードに参加したり露店を出したりしていましたが、最近は、祭りの前後にバラを見学するほうがゆっくりと鑑賞できます。

さて5月のロータリー特別月間は「青少年奉仕月間」です。今年度は、子ども食堂ヴァパウスへの米と肉の食料支援と参考書の贈呈による学習支援を行いました。

また、広島県東部地区中学校吹奏楽祭りの支援をして、私たちが地域に果たすべき役割を再確認いたしました。彼ら彼女らの演奏に一生懸命取り組む姿に触れることは、我々にとっても大きな刺激となります。

本日は、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー報告となっております。

本日の例会が、皆様にとって有意義な時間となりますことを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日もよろしくお願いたします。

【 幹 事 報 告 】



No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・第 16 期 RLI-2710 パートⅢのご案内 ・クラブ 行動目標の進捗報告及びクラブセントラル入力のごお願い ・令和 7 年青森県東方沖地震に対する支援について ・「コーディネーターニュース」2026 年 4 月号
2	米山記念奨学会より ・ハイライトよねやま
3	鞆の浦ロータリークラブより ・脱会のお知らせ
4	福山赤坂ロータリークラブより ・G10・G11 合同 IM USB 送付

【プログラム情報】



《クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 報告》

日時：4月26日（日）13：00～

場所：広島国際会議場



【会長・幹事部門・・・黒木 成光】

先日、広島で行われた CLLS（旧地区協）で会長職の講習を受けました。

とにかく「危機管理」を全体の 90%の比率で言われており、その中身を説明したいと思います。なぜ今、「危機管理」なのか。危機管理と言っても、自然災害（地震、火災、台風など）パンデミック（ウィルス性感染症の大流行）個人情報保護（SNS 拡散、未許可写真掲載など）ハラスメント（いやがらせ、いじめ、無視）その他（ロータリアンとしてのモ

ラルの逸脱）その中でもハラスメントという不祥事が一番取扱いにくいと言われております。

そのハラスメントが起きた事でどういった最悪の流れになるのかを報告いたします。

- ① ハラスメント不祥事は「一部の人の問題では終わらない」
- ② ハラスメントは「内部問題」で終わらない
- ③ ひとつの判断ミスが、クラブ・地区・ロータリー全体の信用を揺るがすと言われております。少し、私から説明をさせていただきます。

まず、ハラスメントが起きてしまったと仮定します。その時には**事前の備え**が必要となります。起こりうる危機を想定し、対策・体制・マニュアルを整える。次に、**発生時の対応**を早急にする。危機が起きた瞬間から、被害を最小化し、早期復旧を図ること。それは、**【起きた時にどう動くか】**を決めておくことが本質となります。こういった危機管理体制での会長と幹事の役割は、会長は素早い判断と最終責任。幹事は情報収集、報告、連携（実務）となっております。なぜ、そこまで「危機管理」を唱えるのか。これから危機の主体（誰にとっての危機か）を明確にしています。

- ・地区全体の評判・信用に影響する事態
- ・クラブ活動に支障をきたす事態
- ・ロータリアン個人の行動が社会問題となる事態

つまり、個人の問題でも、社会的にロータリーの名が関わる場合は危機に含まれるという広い射程を持ちます。但し、ロータリークラブ内あるいはロータリアン相互感の人的・内的諸問題は除くと言われております。

ここが最も重要な境界線です。除外されるのは、クラブ内部の「**人間関係トラブルや内輪の運営問題**」です。

- ・会員同士の不仲、対立
- ・役員間の意見の衝突
- ・クラブ内の手続きミス
- ・会費未納などの内部処理問題

こういった問題を直視する為に現在、当クラブには長期ビジョン委員会があります。

提案ですが、この委員会に併設する形で危機管理委員会と一緒に設け、危機問題が発生すると迅速に理事会へ問題提起し、理事会はその議案が出た瞬間から、早急に解決を図りまた、地区として情報共有・支援すべき対象者へのアフターメンテナンスを行うことが必要ではないかと思っております。

次にハラスメントという最大の危機についてお話をさせていただきます。

ロータリーで起こりやすいハラスメントの判断軸とは。

まず、【受け手】と【環境】にあります。

- ・受け取った人の感じ方
 - ・その場の立場や力関係
 - ・立場の差（ベテランと若手）
 - ・年齢差
 - ・性別
- こういった事で無自覚なハラスメント・事件が起きやすいと言われております。

過去に長崎ロータリークラブで元郵便局長 10 億円詐取事件、24 年以上にわたり、ロータリー仲間から高金利で郵便貯金の名目でだまし取った事件。次に明石ロータリークラブでは会員 4 名が、パンデミックの最中に、別荘へコンパニオン女性を誘い、強制わいせつ事件がありました。

このような危機対応のルールとして、ゼロ容認方針・72 時間ルールといったものがあります。

ゼロ容認方針「ゼロ・トレランス」

特定の行為について、一切の例外を認めず、発生した時点で即座に対応するという基本姿勢。

72 時間ルール・・・重大危機事案が申し立てられた場合、72 時間以内に国際ロータリーへ「申立てがあった事実」を必ず報告しなければならないルールがあります。

そういった、報告フロー。すなわち事件が発生して、必要に応じた

- ① 緊急対応チームを組成 ② 報道機関対策を公共イメージ委員会と協議 ③ 各クラブ

へ報告 そしてガバナーへ報告する。こういった組織を事前に準備する事が大切と言われております。

最後に、このクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーでのアドバイスです。

今まで、過去の事例であったクラブ内での、問題や危機が生じた場合、会長・幹事の少数で解決をしようとしてきました。そういった解決策を取らず、まずは「危機管理委員会」としての組織を事前に準備をし、最初に被害を受けた会員を守ることが先決であり、ハラスメントをした会員には例会の出席を結論が出るまで自粛させ、早急に臨時理事会を設けて結論を出すとの事でした。その結論を出すにあっても、「RI 定款と RI クラブ細則という国際ルールブックを活用すること」そこに回答がありますとセミナーを受けて参りました。

私の年度で、「危機」という事が生じた場合には、この定款と細則に基づいて判断・回答を出していきたいと思っております。



【クラブ管理運営部門・・・瀬尾 義裕】

【所属会員の属性】（地区内全 74 クラブ）

地区平均 43.9 名、61.9 歳、在籍 13.8 年、3 年未満 10.2%

福山西 40 名、57 歳、在籍 12 年、3 年未満 14%

【グループ 10、11 における所属会員の比較】

1 平均年齢

8 クラブが 59 歳～64 歳

福山赤坂は 53.9 歳と若く、府中は 71 歳と高齢化している。

2 類似クラブ

福山南は 3 年未満 15%、平均在籍 12.3% と福山西の状況と極めて近い。

【実質例会出席】

地区の平均 75.5%
福山西クラブ 64.3%
グループ10, 11 4クラブが70%未満

【例会時の着席方式】

指定席方式が40/71

【所感】

「当クラブに突出して特異な状態は見受けられない。必要以上に臆することなく、小さなことから確実に意識改革し、長期的な視点からクラブ運営することが大切」



【会員増強部門・・・奥野 充喜】

今回の研修で最も印象に残ったのは、
「会員増強は委員会だけでなく、全会員で取り組むべき課題である」という点です。

現在、ロータリーでは入会より退会が上回る状況が続いており、日本全体でも会員数は減少傾向にあります。

そのため、単に人数を増やすという考えではなく、クラブの魅力そのものを高めていくことが重要です。

まず重要なのは、例会の魅力向上です。

例会がマンネリ化していると、新しい人は魅力を感じません。

そこで、既存のルールを1つ撤廃し、新しい取り組みを1つ加えることで、例会に新しい風を入れることも1つの手段との事です。

次に、会員満足度の向上です。

現在の会員が満足していなければ、退会につながります。

特に若い世代や女性の意見を取り入れることで、クラブの活性化につながるという点も印象に残りました。

具体的な施策としては、オープン例会の活用が有効とされていました。

オープン例会は実際に活動を体験してもらう場であり、約25%が入会につながっているという実績があります。

そして、グループワークの中で非常に有効だと感じた成功事例です。

それは、オープン例会の前段階の関係づくりです。

候補者リストに挙がった方と、事前に食事会やゴルフなどの交流を行い、クラブ会員との関係性を作っておくことで、オープン例会への参加ハードルが大きく下がるというものです。

いきなり例会に呼ぶのではなく、「人間関係を先に作る」ことが重要だと感じました。

また、衛星クラブの活用も有効な手段として挙げられました。

ロータリークラブへの入会にハードルを感じる方に対しては、まずは敷居の低い衛星クラブへの入会を勧めることで、段階的な参加を促すことができます。

さらに、衛星クラブの会員もクラブの会員数としてカウントできるため、会員減少の対策としても非常に有効です。

加えて、三つ折りパンフレットの活用も実践的なアイデアとして共有されました。

クラブの活動内容が分かるパンフレットを用意し、オープン例会の日程を書き込めるスペースを設けて

おくことで、その場で案内がしやすくなり、入会への導線づくりに役立つというものです。

今回の研修を通じて、会員増強は単なる勧誘活動ではなく、「人との関係づくり」と「クラブの魅力づくり」そのものであると改めて感じました。

以上で報告を終わります。



【奉仕プロジェクト①部門 職業奉仕・・・原田 茂実】

基本方針として 2026-27 年度会長オンラインカ H.バハロア氏のメッセージ「CREATE LASTING IMPACT」（持続可能なインパクトを生み出そう）、および脇ガバナーエレクトの信条「和と絆」～With One Heart（心一つに）～を受け、地区として奉仕の実践に取り組む、各クラブの職業・社会・国際奉仕委員会の事業は両テーマに沿って円滑に実現されるよう、連携を図りサポートする方針説明がありました。

また分科会テーマとして、各クラブの奉仕活動の現状をアンケートに取りまとめ奉仕分野の事例説明を聞き、次年度の活動の参考とする事が出来ました。

具体的には広島東 RC 新井幸司氏が壇上に上がり、広島東 RC の 2025 年度活動報告をされました。

経営塾をテーマに①「企業に求められている統合マーケティング機能の変化と考察」をデジタル・マーケティング・イノベーション・ラボ（株）代表 山口ユウジ氏からと、②「私の歩み」をひろぎんホールディングス 会長井桁晃司氏からの卓話を受けられた説明をされ、また職場訪問会は（株）日本製鋼所広島製作所にてプラスチックの射出機と陸上自衛隊に納入されている 19 式装輪自走 155mm りゅう弾砲を見学された説明を受けました。

福山西 RC も本年度は能登職業奉仕委員長が企画実施された大和建设（株）様の職場訪問会が大変勉強になった事を受けて、次年度は弊社グループ企業の（株）エコフィールでの環境リサイクルの工場見学を計画しています。福山 RC 会員皆様のお役になるような職場奉仕委員の運営を行いたいと思います。



【奉仕プロジェクト①部門 社会奉仕・・・塩川 裕樹】

奉仕プロジェクト①部門（職業・社会・国際奉仕）の地区研修・協議会の報告をさせていただきます。

奉仕プロジェクト①部門のカウンセラー脇正典パストガバナーで分科会テーマは「各クラブに奉仕活動の現況をアンケートにとりまとめ、各奉仕部門の事例を発表。

次年度の奉仕活動の参考にします。」になります。

■社会奉仕委員会 広島東 RC の発表

2・3 年度の準備期間を経て昨今社会問題化している、こども食堂事業から「こどもたちの未来と地域文化をつなぐ街道山車（だし）アート体験」の発表がありました。

まず一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト 代表理事の藤野直子さん（名古屋・名東 RC）に「～子どもの貧困・教育格差をなくすために～」のテーマで卓話をしてもらいました。こども食堂は 2012 年に東京大田区で始まり、2023 年 12 月時点、全国で約 9100 か所あります。子どもの食生活はインス

タント食品が中心でたんぱく質が足りていない傾向にあります。
子ども食堂での食事をすることが子どもへの虐待というパターンに陥ります。
安定した仕事に就くことも難しくなります。これが「負の連鎖・貧困の連鎖」です。
生活は落ち着かず居場所がないまま社会にでてしまうのです。そしてこの負の連鎖は世代間でも起こります。時々親の責任論も起こります。親御さんも負の連鎖で育った方が多のです。その負の連鎖はお子さんが自力で抜け出すのは難しいです。

そして令和7年11月2日(日)に宇品公民館にて試験的に取り組む社会奉仕事業
「こどもたちの未来と地域コミをつなぐ体験事業」を行いました。

年少児から小学中学生までの子ども20名と保護者10名がされ会場は朝から
明るくにぎやかな雰囲気にも包まれていました。

村上渚(地元アーティスト)、かもめ食堂の子どもたちと「街道山車(だし)」づくり
を行いました。

かもめ食堂スタッフの専門性と温かさから学んだことは

食材や資金の支援は重要である一方それは一時的な効果にとどまる側面もあります。

今回の様に自分の手でつくり達成した喜びを分かち合う体験は子どもの心に残り、親子の時間をより豊かに自立の芽を育てる力をもっています。

そしてロータリーには多様な職業人が集まり地域に根差した人脈と経験が蓄積されています。この強みこそこどもたちへの“質の高い体験”を提供する上で大きな価値になると感じました。今後の展開“体験”を軸にした持続的な子ども支援へ

最後に総評で脇正典パストガバナーよりロータリーはRIは方針を掲げ、地区は指導的な立場でありあくまでも主体はクラブです。

クラブで特徴のある奉仕活動をして欲しいとのことでした。

最近、子ども食堂の支援は食料支援から集まる場所への支援に替わってきているとのことでした。

分かり憎い社会奉仕と職業奉仕のお話がありました。

例えば医師が地域で無料で診察することは社会奉仕であり

最善の治療をすることは職業奉仕だとのお話がありました。



【奉仕プロジェクト①部門 国際奉仕・・・北 治郎】

国際ロータリー第2710地区、2026-27年度のクラブ・リーダーシップ
プランニングセミナーの

奉仕プロジェクト国際奉仕部門、分科会の報告を致します。

地区の国際奉仕委員会方針としては「クラブの国際奉仕活動の奨励と支援」として韓国3690地区との交流促進と、国際大会(2027年5月ドバイ)への参加促進となっています。そして事例紹介では、広島東南RCの平岡誠治様による姉妹クラブのハワイパールハーバーRCへの親善訪問に

ついての報告がありました。

残念ながらその内容は奉仕活動というよりはむしろ親善活動に重きが置かれた内容でありました。

しかし実に40年以上の長きにわたって姉妹クラブとしての交流をされていることにその歴史を感じることができました。

そして地区担当委員長の田村秀治様により地区のアンケートの結果について説明がありました。

その中で私なりに注目した事例（実施された事例と活動計画）を紹介します。

① 「すでに実施された活動報告」

呉南 RC は地区グローバル補助金を活用し、フィリピン国アンヘルズ・ノース RC との共同プロジェクトをスタート、そのプロジェクト内容とは、アンヘルズ市の結核患者の状態を改善し、治療を支援し、最終的に結核症を根絶することを目的とすることです。この奉仕活動は、もちろん単年度ではなく、むしろ目的達成までには長期にわたっての奉仕活動となると思われます、今後の活動を注目していきたいと思えます。

② 「次年度活動計画」

西城 RC はタイ国、山岳民族家庭崩壊児童施設への支援を前年度からの継続事業として計画をされています、親のいない、あるいは親の保護を受けられない児童に対してメンバーが里親になり学校に通わせるといった活動です。

併せて、浄水設備の寄贈についても継続事業として行われる予定です。

その他、アンケートを見ての感想は、アジアの他の地区のロータリークラブと姉妹クラブとして提携し、共同での国際奉仕活動が多くあることに関心致しました。

我が福山西クラブももっと会員が 50 人~60 人もっとそれ以上に規模が大きくなれば外国の RC との姉妹縁組を視野に入れてもいいのかなとも思いました。



【奉仕プロジェクト②部門 青少年奉仕・・・竹中 雅彦】

基本方針

1. 脇ガバナーの信条『和と絆』を踏まえ国際的な視野を持つ健全な青少年の育成と危機管理委員会（ハラスメント予防）と共に青少年の安全をを図ることを目標にする。我がクラブには設置されていない危機管理委員会の設置を要望される。

分科会テーマ

- ① ローターアクト（RA）の活動内容と課題
- ② 青少年交換プログラム（YE）の活動内容と課題
- ③ インターアクト（IA）の活動内容と課題
- ④ 青少年指導者育成プログラム（RYLA）の開催（宇部）支援と協力

意見交換（私の意見）

（問）RA は現在 2710 地区に 5 クラブしかなく増強するために何が必要か。

現在ローターアクトは年齢制限がなく 18 歳から上限が撤廃されているためロータリー会員と二重の会員が存在する。その為、会費は二重に納入する必要が生じる。それだったらロータリアンになった方がよいと考える人もいるのではないか。そもそもローターアクト（RA）の知名度が低すぎる、また活動内容も分からない。増強するのであれば大学および専門学校に行って RYLA に参加してもらうのが一番よいと思う。ローターアクトは全て会社から派遣された社員であり、RYLA は派遣社員の交流の場

となっているのではないか。学生に奉仕活動の世界を紹介する場になってもらいたい。広島大学に2つのローターアクトクラブが誕生したのは良い傾向と思われる。

(各クラブの青少年奉仕委員会の活動報告・福山西 RC)

- 1, 福山市・府中市の中学校吹奏楽コンクール(吹奏楽祭り)支援についての説明
- 2, 貴船原少女苑への支援活動についての説明

【ロータリー財団部門・・・鹿内 要秀】

地区補助金に関する指針について改定ポイントの解説

1, 指針改定の目的

- ① 寄付をお願いするだけでなく、補助金を活用しやすくする。
- ② ロータリーの活動を活性化させる。

環境保護の追加

国際ロータリーの重点分野に「環境保護」が加わったことに伴い、地区の指針にも反映されました。

2. 判定基準の主な変更点

対象となるプロジェクトが「地域社会の課題解決」に資するものであることが強調されました。

ロータリアンの関与

- ① 資金提供だけでなく、会員が計画や実施に主体的に関わることが求められます。
- ② 単発のイベントではなく、持続的な効果が期待できる活動が重視されます。

3. 「環境保護」への取り組みと事例

事例・内容・判定・理由・改善点

(1) 海岸清掃

単なるゴミ拾いと清掃用具の購入。

不適

教育的要素や持続性が乏しいため。

(2) 苗木寄贈

公園への苗木の寄贈・植樹のみ。

不適

植えた後の管理体制や継続性が不明確なため。

(3) 川の水質改善

NPO等と協力し、水質調査や住民への啓発を行う。

適

地域住民を巻き込み、長期的な改善に繋がる「システム」作りが含まれるため。

ポイント: 補助金を申請する際は、単なる「寄付」や「清掃活動」に留まらず、いかに地域社会と連携し、持続可能な仕組みを作れるかが重要になります。



【米山記念奨学会部門・・・三谷 篤史】

全体会議

米山記念奨学会部門

基本方針・米山記念奨学会事業の理解

- 寄付推進 16,000 円以上/1 人
- 奨学生の選考、世話クラブ・カウンセラーの決定及び支援
- 奨学生や学友との交流
- 学友会の支援

分科会テーマ

- 「将来、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する」を目的とし、各クラブ米山委員長を通じて理解と協力を普及する
- 地区内で事業拡大に向け、特別寄付に注力し第 2710 地区寄付目標額 16,000 円/人を達成する。
※2024-25 年度 個人平均寄付額実績：14,184 円/人

米山記念奨学委員長の役割

- ① 奨学事業の理解推進
 - 地区研修・協議会米山部門に出席し、事業について修得する。
 - クラブ内の米山関係プログラムを企画する。米山月間（10 月）
- ② 寄付推進
 - 寄付金明細表で寄付金動向を把握し、前年度を下回らないよう努める事。
 - 寄付増進のため独自のアイデアで工夫する事。
- ③ 奨学生・学友との交流促進と広報
 - クラブ会員と交流が深められるよう努め、クラブ全体で奨学生を受け入れる

世話クラブとカウンセラーの役割

世話クラブ・カウンセラー制度は米山記念奨学事業の要となる。交流を通じて、ロータリーの奨学生としてふさわしい学生へと導き育てる事。
※奨学生の個人情報には十分注意し取り扱う。

米山学友会の活動

元米山奨学生によって組織される同窓会組織で国内に 33、海外に 10 の計 43 の米山学友会がある。いずれもロータリー会員が連携してさまざまな活動を行っている。

近年、学友からの寄付も増えている。「お世話になった恩返し」「後輩を応援するために」との寄付。東日本大震災・熱海土砂災害・能登半島地震の際にも義援金が集まっている。

米山記念奨学会事業と共に学友会の理解も深める必要がある。

【その他報告】



《各種表彰等》

【誕生日】



《5月12日生まれ 後藤 あい さん》

【皆出席】



《通算21年 塩川 裕樹 さん》

【クラブ活動報告】



特にありません。

**UNITE
FOR
GOOD**

2025-26 年度 RI 会長メッセージ